

# 第一講

## 漢文読解の基礎

〈漢文の文構造〉… 「 」 と語順が似ている

季康子問<sup>フ</sup>政<sup>まつりごと</sup>於孔子<sup>一</sup>。  
\*季康子…人名 \*政…政治

季康子政「孔子」問ふ。

〈返り点〉…文字が下から上に返るときに付く

レ点	「 返る
一・二点	「 返る 「 返る
※一・二・三・四と続く	
上・下点	「 返る
※上・中・下点となる場合もある	
甲・乙点	「 返る
※甲・乙・丙・丁と続く	

◆返り点にしたがって、□の中に読む順序を数字で記入してみよう。

① □<sub>レ</sub> □<sub>二</sub> □<sub>一</sub> □<sub>一</sub>。

② □<sub>三</sub> □<sub>二</sub> □<sub>二</sub> □<sub>一</sub>。

③ □<sub>レ</sub> □<sub>レ</sub> □<sub>二</sub> □<sub>レ</sub> □<sub>レ</sub> □<sub>一</sub>。

④ □<sub>下</sub> □<sub>二</sub> □<sub>一</sub> □<sub>一</sub> □<sub>上</sub> □<sub>レ</sub> □<sub>一</sub>。

⑤ □<sub>三</sub> □<sub>二</sub> □<sub>一</sub> □<sub>レ</sub> □<sub>二</sub> □<sub>二</sub> □<sub>一</sub>。

〈書き下し文〉

- (1) 漢字と仮名を用いて書く
- (2) 旧仮名遣いを用いる
- (3) 「 」と「 」  
「 」は仮名で書く
- (4) 「 」  
「 」は書かない

◆次の文を書き下しなさい。

- ① 人生如<sub>シ</sub>朝露<sub>ノ</sub>。

- ② 父母之年、不可<sub>レ</sub>不知<sub>レ</sub>也。

- ③ 楚人<sub>ニ</sub>有<sub>リ</sub>鬻<sub>ヒ</sub>盾<sub>ヲ</sub>与<sub>レ</sub>矛<sub>者</sub>也。

# 第二講

## 再読文字

### 再読文字

再読文字には必ず返り点がつく。その字が出てきたところでまず一度読み、次に返り点に従って二度目を読む。

一度目は「①

」として、二度目は「②

」としての働きをもつ。

◆書き下し文を参考にし、返り点をつけてみよう！。

不知老之将至。

〔書き下し文〕老いの将に至らんとするを知らず

	再読文字	読み	意味（現代語訳）
7	盍		
6	須		
5	宜		
4	須		
3	当・応		
2	将・且		
1	未		

◆次の傍線部を書き下し、現代語訳してみよう。

(1) 見<sup>テ</sup>牛 未<sup>ラ</sup>見<sup>レ</sup>羊 也。

書き下し文	牛を見て〔 牛を見て〕
現代語訳	〔 〕。

(2) 船 将<sup>レ</sup>沈<sup>ル</sup>。

書き下し文	
現代語訳	

(3) 当<sup>レ</sup>殺<sup>レ</sup>之<sup>ヲ</sup>。

書き下し文	
現代語訳	

(4) 須<sup>レ</sup>重<sup>ニ</sup>礼<sup>儀</sup>。

書き下し文	惟だ仁者のみ〔 仁者だけが〕
現代語訳	〔 〕。

(5) 惟<sup>ダ</sup>仁<sup>者</sup> 宜<sup>シ</sup>在<sup>ニ</sup>高<sup>位</sup>。

書き下し文	惟だ仁者のみ〔 仁者だけが〕
現代語訳	〔 〕。

(6) 過<sup>ギタルハ</sup> 猶<sup>レ</sup>不<sup>レ</sup>及<sup>ズ</sup>。

書き下し文	過ぎたるは〔 行き過ぎてゐるのは〕
現代語訳	〔 〕。

(7) 盍<sup>ニ</sup>為<sup>レ</sup>我<sup>言</sup>之<sup>ヲ</sup>。

書き下し文	
現代語訳	